

『ゴスフォードパーク』 原題 GOSFORD PARK (2001)



映画批評

『ゴスフォードパーク』 原題 GOSFORD PARK (2001)

～ 屋敷の上階と下階とで格差のある社会

塚田三千代 (翻訳家・映画アナリスト)

©m.tsukada

英国郊外にある大邸宅(カントリー・ハウス)を舞台に、1932年の上流階級と使用人たちを対照的に描いて、多数の映画賞を受賞した映画である。第2次大戦前、イギリス貴族社会の衰退と大英帝国の凋落。カントリーハウス内の階上と階下の生活を対比的に浮彫りにする。

本映画は、大邸宅内が「階上」と「階下」に2分された世界を、すばやいカメラショットで同時進行させ、複数の登場人物に状況だけを与えて自由にしゃべらせて複数のカメラで同時に撮影するという手法で創られている。会話はまるで二重唱のように響いてくるので、物語の状況を理解するためには、シーンにオーバーラップする言葉をキーワードにして、それをつなぎ合わせて推測するしかすべがない。登場人物も多数なので、顔と名前が一致してその人間関係が分かるまでに時間のかかる映画である。

しかし、映画の中に描かれるイギリス文化は、午後のお茶会、キジ猟、狩りのあとの野外昼食会、8時の晚餐会、等が登場する。時が進むにつれて、英国貴族社会の古い慣習にしがみついた人々や、その下で働く使用人たちの心情が鮮やかになってくる。

これこそはロバート・アルトマン監督のめざす彼特有の創作世界なのである。監督は観客が会話に耳を澄まし、登場人物の言葉の片々や細やかに動く視線を見逃さなければ、しぜんに人物たちの人生や背景が霧の晴れ間に見える景色のように鮮やかに見えてくるように仕組んでいる。

1932年代の世界景気後退や階級意識の変化をかい間見せながら、真夜中に起きた殺人事件の犯人推理を登場人物も観客も共に楽しめるサスペンス・ミステリ映画である。

映画のオープニング・シーンは 1932 年 11 月、凍るような雨の中をカントリー・ハウスで週末を過ごすために「ゴスフォード・パーク」へ向かう光景で始まり、クロージング・シーンでは大邸宅を去りゆく客たちの遠景にカントリー・ハウスをふたたび浮かび上がらせる。映像として印象的で余韻が残る。



## 映画セリフ

What gift do you think a good servant has that separates them from the others? It's the gift of anticipation.

註:カントリー・ハウスを仕切る女性執事(女中頭)ミセス・ウイルソンがその仕事をどれほど自負し、日々務めているかを表現しているセリフである。

#1 We don't want to be thought unsophisticated, do we?

Mr. Weissman's an American. They do things differently there.

#2 Really? When was the last time you stabbed a corpse?

#3 What gift do you think a good servant has that separates them from the others?

It's the gift of anticipation.

## 【映画史リテラシー】

●言語:イギリス英語

・英語、スコットランドなまり、米語

・きどった表現、遠まわしな言い方、ユーモア

●登場人物:

マギー・スミス (コンスタンス・トレンサム伯爵夫人) マイケル・ガンボン (ウィリアム・マッコードル卿)

クリスティン・スコット・トーマス (シルヴィア・マッコードル夫人)

ボブ・バラバン (モリス・ワイズマン 映画製作者 同性愛者) カミーラ・ラザフォード (イゾベル・マッコードル)

チャールズ・ダンス (レイモンド・ストックブリッジ卿) ジェラルディン・ソマーヴィル (ルーイーザ・ストックブリッジ夫人)

トム・ホランダー (アンソニー・メレディス中佐) ナターシャ・ホワイトマン (ラヴィニア・メレディス夫人)

ジェレミー・ノーサム (アイボア・ノヴェロ) ジェームズ・ウィルビー (フレディー・ネスビット)

クローディー・ブレイクリー (メイベル・ネスビット) ライアン・フィリップ (“ミスター・ワイズマン”ヘンリー・デントン)

トレント・フォード (ジェレミー・ブロード) スティーヴン・フライ (トンプソン警部)

ケリー・マクドナルド (“ミス・トレンサム”メアリー・マキーシュラン)

クライヴ・オーウェン (“ミスター・ストックブリッジ”ロバート・パークス)

ヘレン・ミレン (ミセス・ウィルソン メイド頭) アイリーン・アトキンス (ミセス・クロフト 料理長)

エミリー・ワトソン (エルシー メイド) アラン・ベイツ (ジェニングス 執事)

デレク・ジャコビ (プロバート) リチャード・E・グラント (ジョージ 従者頭、金庫係)

●関連映画:『日の名残り』(1993) 原作:Kazuo Ishiguro

●『ゴスフォード・パーク』GOSFORD PARK SCREENPLAY 名作映画完全セリフ集

●DVD:「ゴスフォード・パーク」GOSFORD PARK 137分

ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン(株)

① 午後のお茶会 (Afternoon Tee) DVD C-2 SP p.34

- ② チャーリー・チャンが現実に (A Real Charlie Chan Movie) DVD C-11 SP p.122-142
- ③ メアリーの疑問 (Mary's Question) DVD C-13 SP p.166-168
- ④ ミセス・ウィルソン & メアリー (Mrs. Wilson and Mary) DVD C-15 SP p.184-186
- ©2003 Universal Studio. All Rights Reserved

[映画情報]



© 2012 m.tsukada. All Rights Reservd.